

松江歴史館館蔵品展
極秘諸国城図―松江藩士が所持した城図集―
開催概要

元禄5年(1692)、松江藩士の山岡氏の手元に、74枚の城図をまとめた『極秘諸国城図』がありました。長辺40センチ、短辺30センチ程の紙に、東北から九州に至る各地の城郭を描いたものです。中でも注目を集めるのは「江戸始図」で、将軍になった徳川家康が改修した江戸城の姿を示す城図として、全国に知られています。本展では、『極秘諸国城図』を初めて一斉公開します。

- | | |
|----------|---|
| 1. 会 期 | 令和9年(2027)1月22日(金)～4月4日(日)
会期日数：73日(開館日数は63日)
開館時間：9時00分～17時00分(最終入場は16時30分)
休館日：毎週月曜日(祝日の場合は翌平日) |
| 2. 会 場 | 松江歴史館 企画展示室 |
| 3. 主 催 | 松江歴史館 |
| 4. 観 覧 料 | 480円(380円)、松江市民240円
※基本展示室とのセット券の料金は830円(660円)
※()内は20名以上の団体料金。
※中学生以下は無料。
※高校・大学・専門学校に通う学生は学生証の提示で団体料金。 |